

宇山消総第121号
令和5年(2023年)10月13日

株式会社 毎日新聞社
代表取締役社長執行役員
松木 健 様

宇部・山陽小野田消防組合
管理者 篠崎 圭 二

抗議文

毎日新聞令和5年10月13日朝刊に、『宇部市長に「再調査を」消防署パワハラ問題 職員が要望書』と題する記事が掲載されました。

掲載記事は、事実と異なっており、世間に対してあたかも不適切な調査があったような印象を与え、宇部・山陽小野田消防組合（以下、「組合」という。）の名誉を著しく傷付けるものであるため、当組合としては、貴社に対し以下のとおり抗議、要請いたします。

1 事実と明らかに異なる報道

組合は、パワハラ事案を重く受け止め真摯に取り組んでおり、内部調査の結果については、関係者に明らかにしているにも関わらず、「組合の調査後、上司の処分があったかどうかなどは、職員側に伝えられていない」、と事実と異なる記事が、組合に取材を行われたいまま掲載されています。

これは、問題解決に向けて全力で取り組んでいる組合の名誉を大きく傷つけ、また、住民の信頼を失墜させるものであり、到底容認できるものではなく、断固として抗議します。

貴社においては、報道機関としての使命を認識した上で、訂正ないし謝罪の記事を掲載することを強く求めます。

2 不適切な取材行為

記事掲載に関して、貴社の記者による看過しがたい不適切な取材（以下に列記）がありましたので、その真意を明らかにしていただきたい。

- ・令和5年10月12日に、当記者が、組合に「パワハラ事案について再調査のお願い」の文書を持参されたのはどのような立場からか？正式にメッセージとなるような発信者から依頼を受けたものなのか？
- ・組合から当記者に対して、事実確認を促すために、文書に示された事案に関しての一連の文書を開示する用意があると伝えたにも関わらず、「その必要はない」と事実確認の要請を拒否したのはなぜか？
- ・管理者のコメントを性急に求められたため、管理者が不在であり時間をいた

だきたい旨を伝えたが、一方的に短時間（約2時間）でのコメントを求め続け、遅れることに感情的な対応をされたのはなぜか？

当組合としては、これまで、報道機関に対して可能な限り丁寧に対応してきましたが、今回、出所不明の情報をもとに、組合への取材が無いまま読者に誤解を与える報道がなされたことは大変遺憾であり、今後は丁寧な取材のもと事実関係を正しく報道されるよう強く要請します。

宇部・山陽小野田消防局
総務課長 弓立
TEL(0836)21-6112